

# 阿波市議会だより

第35号 年4回発行 [平成27年6月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会  
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田201番地1  
電話 0883-36-8750 FAX 0883-36-8764  
ホームページアドレス http://www.city.awa.lg.jp/gikai/

## 平成27年第1回 阿波市議会定例会の概要

第1回定例会は、新庁舎完成後の新しい議場において初めての議会となり、3月2日から24日までの23日間の会期で開かれました。開会日には野崎市長から、新庁舎及び交流防災拠点施設アエルワの総合落成式と市制施行10周年記念式典の開催、御所小学校区自主防災組織連合会の設立、一条地区幼保連携施設整備事業など、行政報告がありました。続いて、平成26年度一般会計補正予算、平成27年度阿波市一般会計予算、国の法律改正に伴う条例の一部改正などの議案について概要と提案理由の説明がありました。10日から12日に行われた代表・一般質問では、11人が市政全般について理事者の考えを問ひ、地方創生交付金事業について、新庁舎等公共施設について、教育・子育て関係、農業振興、福祉関係など幅広い分野について議論しました。16日に総務、19日に産業建設、20日に文教厚生各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決し、「公共施設等へのLPガス設備の導入に関する請願」を採択しました。追加議案として、議員発議による、新議場の電子表決システム導入に伴う会議規則の一部改正と、地方自治法改正に伴う委員会条例の一部改正が提出され可決しました。また、人事案件2件が提出され可決しました。その後、副議長の辞職に伴う選挙が行われ、指名推薦により新副議長に榎原賢一議員が就任しました。

## 平成27年第1回 阿波市議会臨時会の概要

4月21日、第1回臨時会が1日間の会期で開かれ、人事案件、平成27年度阿波市一般会計補正予算など、市長提出議案の概要と提案理由の説明があり、いずれも同意・可決・承認されました。

### 代表質問

藤川 豊治 議員  
(阿波みらい)



問 平成27年度予算の目玉事業は何か。

答 主な新規事業として、1点目、平成27年度は阿波市が誕生して10周年を迎える記念の年となる。市民全体で祝うとともに郷土に誇りと愛着を感じ、未来に向けて夢と希望にあふれたまちづくりにつなげていくための様々な記念事業を実施する。2点目は、子育て支援の充実で、市内3か所の幼保連携施設において、幼児期の学校教育及び保育の総合的な提供を行うため、認定こども園を4月1日から開園する。3点目は、市内全小・中学校の教育コンピュターをタブレット型パソコンに変更し、子ども学習意欲を高め、知識や理解の定着、思考力、表現力

問 介護保険料の値上げの理由は何か。

答 介護保険法の規定に基づき3年ごとの見直しによるものである。このため65歳以上の第1号被保険者の基準月額を490円増額し、5800円に改定する。また、低所得者の軽減強化として、所得の第1階層の基準保険料率を50%から55%軽減に拡大し、4月から月額保険料を2610円に軽減する。今後、給付費の抑制策として、一層の介護保険事業の推進に努めたい。

江澤 信明 議員  
(阿波清風会)



問 今年4月から地方教育行政法が改正され、教育委員会制度がどのように変わるのか。

答 教育長と教育委員長を一本化して、市長が議会の同意を得て新教育長を任命する。また、総合教育会議を設置し、市長と教育委員会が意思疎通を図り、民意を反映した教育行政を推進

問 新庁舎において大きな催し物の時、市民から駐車場が不足しているとの指摘に対して。

答 開庁時の行事開催時の、来場者の駐車場不足は認識しており、今後、予算面、周辺住民の理解を得ながら検討する。

問 各支所の建物施設の解体、敷地整備をどのように考えているのか。

答 旧市場支所は平成28年度に解体、旧土成、旧吉野支所は29年度に解体する。跡地は大規模災害に備えた、地域防災広場として有効活用を考えている。

問 東南海巨大地震災害時における阿波市の被害予想数値は。

答 県全体では3万1300人の死者数、阿波市では最大震度6強、死者数最大100人、建物全壊1600棟、半壊4300棟、避難者数最大4700人と予想される。今後、防災公園や施設整備を充実していきたい。

問 売却とか賃借したいが、相續できていないとか、個人情報も含んだ問題がある。地方創生交付金を活用し、空き家調査を行い、定住促進に向けて取り組むたい。

問 市内循環バスの運行はできないか。

答 移動手段を確保していく事は重要な課題と考える。本市の実情にあった効果的、持続可能な公共交通網について協議していきたい。

原田 定信 議員  
(志政クラブ)



問 どの町の理事者も企業誘致を公約しているが、実際には労働力は不足している本市において、人材バンク等の設立を図ってはどうか。

答 設置についてはたくさんの方々の問題が発生し困難と思う。他市での取り組み等を参考に雇用対策に取り組みたい。

問 空き家対策と定住促進について。

答 売却とか賃借したいが、相續できていないとか、個人情報も含んだ問題がある。地方創生交付金を活用し、空き家調査を行い、定住促進に向けて取り組むたい。

問 市内循環バスの運行はできないか。

答 移動手段を確保していく事は重要な課題と考える。本市の実情にあった効果的、持続可能な公共交通網について協議していきたい。

### 一般質問

吉田 稔 議員  
(阿波清風会)



問 地方創生交付金事業を実施するにあたり、5年間の阿波市総合戦略が策定されるが、市民

問 平成20年10月の全員協議会において、人件費関係で1億2000万円の削減ができるという。実際、確かに正職員は減っているものの臨時・嘱託は増えている。その約守は守れるのか。

答 今年2月に外部委員を中心に、阿波市行政改革委員会を開催し、第3次行政改革大綱を策定した。それを基本に部局間が連携した企画立案や、職員の資質向上を図り、目標達成に取り組むたい。

問 参加が必要では。

答 各団体の代表者及び市民から広く意見を聞き策定したい。

問 地方創生にはマンパワーが必要。地域リーダー育成講座を開設してはどうか。

答 人材育成は大変重要。あらゆる方策を検討していきたい。

問 農協等の大きな組織に6次産業化を積極的に働きかけ、農家の所得向上と雇用の創出を期待したいが。

答 農協改革が話題に上がっている。JAに対する農家や社会の期待は大きい。JAの意向も踏まえた上で働きかけていきたい。

問 県外ではいじめによる死者まで出ている。阿波市の現状と対応は充分か。

答 道徳教育、人権教育を通じていじめに向かわない態度の育成に努めている。学校、家庭、地域、関係機関と連携していじめ問題に対応している。

問 求める教師像、地域や家庭のあり方について教育長の所感は。

答 豊かな教養と指導力や人間性、社会人としての良識、教育者としての使命感、責任感、情熱が必要。また、子どもに対し家庭や地域の愛情や協力が大切と考える。

谷 美知代 議員  
(無所属)



問 阿波市の20歳以上の子宮頸がん検診対象者は1万682人で、受診率は、14.9%と低い状態であるが、受診率の向上に向けた取り組みは。

答 広報阿波やケーブルテレビによる周知など、創意工夫しながら受診率の向上につなげていきたいと考えている。

問 従来の子宮頸がん細胞診と併せてウイルス感染を調べるHPV検査を導入することで、前がん病変を確実に発見でき、子宮頸がんをほぼ100%予防することが可能である。市民への正しい知識と情報提供を行う必要があるのでは。

答 現在県内でHPV検査の費用補助をしている市町村は1か所であり、まずはHPV検査の周知から図っていききたい。

問 地域包括ケアシステムについて、阿波市の自主性や主体性をどのように捉えているのか。

答 フルコンサート用ピアノ関連と、それ以外の音楽用備品類に分けて入札した。今後は透明性に配慮したい。



阿波市制施行10周年記念事業キャッチフレーズ  
「10周年 かがやく阿波市に きらめく未来」

問 地域での現状や課題について地域ケア会議を推進し、市民や関係者の方々の意見も反映していきたい。

問 介護保険の策定委員について、民間の経営者や、地域密着型の関係者の参加が少ない。

答 次期計画の策定委員の選任については、部会等の意見も視野にいれ、今後検討していきたい。

川人 敏男 議員  
(明日の阿波市をつくる会)



問 阿波市誕生から10年の節目を迎えたが、次の10年に向けての取組みを伺いたい。

答 今後の人口減少や少子・高齢化を見据えて、阿波市創生のために、行政のスリム化はもとより、農業振興や企業誘致による働く場の確保、観光振興、子育て支援などに全職員の英知を結集して取り組む。

問 教育用タブレット端末を全ての小中学校に導入するが、そのスケジューリング及び指導に当たる先生の研修はどうするの。

答 各学校への機器の導入は、夏休み中に行う。先生の研修も夏休み中に実施し、2学期以降もミニ研修などを行い、スムーズに授業や教育活動に活用できるようにし、教育の質の向上を図ってまいりたい。

問 アエルワにフルコンサート用ピアノを1782万円、リハーサル用ピアノ一式を513万円を2回に分けて購入している。この経費は市民の汗と脂であり、2千万円以上の物品購入は議会に図らなければならない。椅子等も含めて購入手続きが不透明である。

答 フルコンサート用ピアノ関連と、それ以外の音楽用備品類に分けて入札した。今後は透明性に配慮したい。

**松村 幸治 議員**  
(阿波清風会)



**阿波市の農業の未来について**  
**問** 阿波市米の第3セクターによる海外輸出について。

**答** 売れる米については、魚沼産コシヒカリやれんげ米のように、おいしさだけでなく何らかの付加価値が必要であり、有効な栽培技術の確立や意欲のある農家を始め、関係機関との調整が必要である。

**問** 和牛の第3セクターによる繁殖と牛肉の海外輸出について。

**答** 和牛の放牧は、家畜の成長を促しながら健康な体をつくり、森林や草地を保全し、自然環境を守る。また、農家の高齢化対策にも有効である。しかし、悪臭など近年の畜産環境問題や、PPP協議の結果による社会情勢の変化を考えると、新たに放牧場の設置をすることは、現段階では非常に難しいと考える。

**檜原 伸 議員**  
(阿波清風会)



**問** 公助の責務の観点にたった緊急医療体制の整備について。

**答** 阿波市医師会との「災害事故当時の医療救護に関する協定書」に基づき、市内4か所に設けた救護所で医療救護活動を行う。

**問** 新しい教育委員会制度では責任の所在がはっきりしないという指摘は解消されているか。また、教育行政の中立性は保たれているか。

**答** 新制度における新教育長が

教育委員会の会務を総理し、教育行政の第一義的な責任者であることを明確に定め、首長は教育長を議会の同意を得て、直接任命することとなるので任命責任が明確化される。

**問** 新規就農者への支援について。

**答** 多様な担い手の育成のなかで、平成26年度にスタートした農地中間管理事業を利用した農地集積を行うとともに、青年就農給付金による年間150万円の給付、設備投資に必要な無利子資金制度などを活用し、新規就農者の育成と確保を図ってきたい。

**松永 渉 議員**  
(阿波清風会)



**問** 人口減少対策の部局間連携創出策は何か。

**答** 職業体験学習により勤労観を育み、チャレンジ精神や資質の向上を目指し、教育を推進する。

**問** 健康福祉部の所得向上策は。

**答** 子育て支援事業及び就労支援事業により、安全・安心して就労することができ、所得向上につながることを考える。

**問** 臨時職員等が安心して働け、結婚、子育てができるように給料を上げていただきたい。

**答** その都度処遇については改善している。今後も、給料面・待遇面も含め十分検討したい。

**問** 阿波市は子育て支援が県下トップクラスの中、医療費の無料化は小学校終了まで。県下24市町村のうち、17市町村、約71パーセントが中学校卒業まで、うち2町村は18歳までとなっている。医療費の無料化も県下トップクラスの高卒業までにして、人口減少対策の柱に。子育てするなら阿波市のまじづくり

**平成27年第1回 阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表**

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号	平成26年度阿波市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決
議案第2号	平成26年度阿波市一般会計補正予算(第7号)について	原案可決
議案第3号	平成26年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第4号	平成26年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第5号	平成27年度阿波市一般会計予算について	原案可決
議案第6号	平成27年度阿波市御所財産区特別会計予算について	原案可決
議案第7号	平成27年度阿波市国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第8号	平成27年度阿波市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第9号	平成27年度阿波市農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第10号	平成27年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決
議案第11号	平成27年度阿波市介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第12号	平成27年度阿波市伊沢谷簡易水道事業特別会計予算について	原案可決
議案第13号	平成27年度阿波市水道事業会計予算について	原案可決
議案第14号	阿波市職員定数条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	阿波市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案第16号	阿波市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	阿波市定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定に関する条例の制定について	原案可決
議案第18号	阿波市行政手続条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	阿波市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	阿波市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の制定について	原案可決
議案第21号	阿波市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第22号	阿波市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第23号	阿波市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第24号	阿波市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第25号	阿波市地域支援事業利用料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	阿波市立幼保連携型認定こども園設置条例の制定について	原案可決
議案第27号	子ども・子育て関連3法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第28号	阿波市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第29号	阿波市災害危険区域に関する条例の制定について	原案可決
議案第30号	阿波市立幼稚園保育料徴収条例の全部改正について	原案可決
議案第31号	阿波市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第32号	阿波市いじめ防止対策推進条例の制定について	原案可決
議案第33号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第34号	あわ北「新市まちづくり計画」の変更について	原案可決
議案第35号	阿波市道路線の認定について	原案可決
議案第36号	阿波市道路線の変更について	原案可決
報告第1号	債権の放棄について	—
請願第1号	公共施設等へのLPガス設備の導入に関する請願	採 択
発案第1号	阿波市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
発案第2号	阿波市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第37号	監査委員の選任について	同 意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任
—	副議長選挙について	選 挙
—	徳島中央広域連合議会の議員選出について	選 挙

**平成27年第1回 阿波市議会臨時会 議案番号及び議決結果一覧表**

議案番号	議案名	議決結果
議案第38号	副市長の選任について	同 意
議案第39号	阿波市特別職指定条例の一部改正について	原案可決
議案第40号	平成27年度阿波市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度阿波市一般会計補正予算(第8号)について)	承 認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について)	承 認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度阿波市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について)	承 認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について)	承 認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について)	承 認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第4号)について)	承 認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度阿波市伊沢谷簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について)	承 認
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市税条例の一部改正について)	承 認
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市国民健康保険税条例の一部改正について)	承 認
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて(阿波市介護保険条例の一部改正について)	承 認

**問** 他県では22歳の大学生まで拡大している自治体もある。拡大競争の懸念の中、子育て支援の向上を目指し、教育的に地方創生の総合戦略策定の中で検討していく。

**答** 管理計画を基に有効活用を考えていくのはもちろんであるが、管理という点で今一度、吉野、土成、市場の庁舎内を点検して文書管理等を含め早急に対応していく。

**問** 吉野川下流域農地防災事業について申し合わせ事項の履行は守られているか。また、コモウ川幹線の今後の管理形態の考えは。

**答** 履行が遅れている案件、経過年数を経た十分把握できていない案件等を各部署ごとに関係資料の精査を行っていききたい。また、コモウ川の今後の管理形態は今後も国・県・改良区と十分な協議を重ねた上で、関係市町の間で足並みをそろえながら、十分な調整、協議を行わなければならないと考える。

**問** 潜在的な保育士の確保に努めるとともに県福祉人材センターやインターネットや、県保育士支援センターへの登録も行っていききたい。基づいた旧町役場の活用及び管理はどのようにしているか。

**答** 医療センターとは違った機能を有している。今後も引き続き地域の方々の安心、安全、健康増進に貢献していきたいとのことである。

**問** 念願の新庁舎、交流防災拠点施設、教育施設等大型施設の事業が一部残し完了。今後の財政見通しは。

**答** 財政健全化法の実質公債費比率や将来負担比率等は全国的にみても健全な指標である。合併特例債等を計画的に活用するとともに、行財政改革を引き続き着実に推進し、健全財政に努める。

**問** 市営住宅ストック計画の進捗状況と入居予定者の対応は。

**答** 27年度末に全て竣工予定。入居予定者には意向調査等を予定している。

**問** 現在、市内には企業誘致の造成用地がない。今後の取組みは。

**答** 市の活性化対策として、企業誘致と雇用対策に取組みたい。



**森本 節弘 議員**  
(志政クラブ)

**問** 入札辞退者が多いが対応策は。

**答** 工事実施担当課と随時発注時期についての協議を行うとともに、建設工事審査委員会の場でも入札件数の調整が図れるか検討を重ね、入札辞退者、入札不調案件が少なくなる方策を考える。

**問** 公共施設等総合管理計画に

**答** 潜在的な保育士の確保に努めるとともに県福祉人材センターやインターネットや、県保育士支援センターへの登録も行っていききたい。

**問** 吉野川医療センターが5月11日より診療を開始する。阿波病院の今後の内容について。

**答** 阿波病院は地域包括ケア病院があり、在宅支援に向けた重要な役割を担っており、吉野川

**活動状況報告**

**●委員会等の開催状況**

3月16日	総務常任委員会	3月26日	新庁舎運営特別委員会
19日	産業建設常任委員会	4月17日	議会運営委員会
20日	文教厚生常任委員会		全員協議会
23日	全員協議会	5月18日	議会広報特別委員会

平成27年第2回定例会は6月4日(木)開会予定です。詳しい日程は、議会事務局(0883-36-8750)までお問い合わせください。

**議会たより**  
**編集雑感**

今年の春は異常に雨が多く、農家にとっては、野菜の成長が遅れ、心配事がいっぱい。春先となりました。私も、新人議員として一年を過ぎ、ようやく阿波市全体を見渡せるようになり、議員というより、阿波市の職員の一員として、市民の方々のお世話をさせて頂くべく、頑張っています。(松村幸治)